

## 愛によって恐れを乗り越える

「エホバは私の側にいてくださる。私は恐れない」。[詩編 118:6](#) エホバは私の側にいてくださる。私は恐れない。人が私に何を行えるだろう。

### 105 番の歌 「神は愛」

何を学ぶか\***恐れの気持ちは、必ずしも悪いものではありません。危険から身を守る助けとなるからです。とはいっても、ふさわしくない恐れに負けるなら、良くない結果を招いてしまいます。サタンがそうした恐れを使って、私たちに間違った決定をさせようとするからです。それで、私たちはできる限りのことを行って、こうした**恐れに立ち向かう必要**があります。では、どんなことが**助け**になるでしょうか。この記事で考える通り、エホバが私たちの側にいてくださいり、私たちを**愛してくださっている**、ということを**確信**しているなら、どんな恐れも乗り越えることが可。**

1. どんなことに恐れや不安を感じる場合がありますか。

恐れや不安を感じた兄弟姉妹は大勢います。例えば、**ネストル兄弟**と妻の**マリア姉妹**は、**必要な大きな所で奉仕したい**と願っていました。**\*一部の名前は変えてあります。**でも、そのためには**生活レベルを調整する必要**がありました。2人は、**収入が少なくなても幸せに暮らしていく**だろうかと不安に感じました。**ビニアム兄弟**は、**エホバの証人の活動が厳しく制限されている国に住んでいました。**それで、**エホバの証人**になった時、**自分も迫害を受けることになる**と思い、恐れを感じました。でも、**兄弟がもっと恐れを感じたのは、自分がエホバの証人になったことを知つて、家族がどんな反応をするか**、ということでした。**バレリー姉妹**は**進行性のがん**と診断されました。しかし姉妹は、**聖書に基づく血についての自分の信念を尊重してくれる外科医**をなかなか見つけられませんでした。それで、**自分は死んでしまうのではないか**、と恐れを感じました。

2. 恐れを乗り越えるよう努力する必要があるのはなぜですか。

2 多くの人がこうした恐れや不安を感じてきました。あなたもそうかもしません。でも、こうした**恐れに立ち向かわない**なら、**エホバとの関係を損なう**ような**良くない決定**をしてしまうかもしれません。それは**サタンが願っている**ことです。**サタンは恐れを使って、私たちにエホバの律法を破らせたり、伝道をやめさせたり**しようとします。[\(啓 12:17\)](#) それで竜は女に対して激怒し、彼女の子孫(d\*種)のうちの残っている人たち、すなわち、**神のおきてを守り、イエスについて証言する務め**を与えられている人たちと戦うために去っていった) **サタンは、邪悪で冷酷で強力な敵**です。それでも、**サタンから身を守ることは可能**です。どのようにでしょうか。

3. 恐れを乗り越える上で、どんなことが助けになりますか。

3 **エホバが愛してくださっていることや、私たちの側にいてくださることを確信**しているなら、**サタンのたくらみに負けてしまうことはありません。** ([詩 118:6](#) エホバは私の側にいてくださる。私は

恐れない。人が私に何を行えるだろう）例えば、[詩編 118 編](#)の作者のことを考えてみましょう。その人は、非常に難しい状況をいろいろと経験しました。多くの敵がいて、その中には権力者もいました。（[9, 10 節](#)権力者に頼るより、エホバのもとに避難する方がよい。10 全ての国が私を取り囲んだ。しかし、私はエホバの名によって彼らを追い払った）大きなプレッシャーを感じることもありました。（[13 節](#)私は押し倒された。しかし、エホバが助けてくださった）そして、エホバから厳しく正されることもありました。（[18 節](#)ヤハは私を厳しく正した。しかし、私を死に至らせなかった）それでも、この詩編作者は、「私は恐れない」と歌いました。それほど安心できたのはなぜでしょうか。それは、天のお父さんエホバから正されたとはいえ、深く愛されてもいる、ということを理解していたからです。また、どんな状況にぶつかるとしても、優しいエホバ神が必ず助けてくださる、ということを確信していたからです。（[詩 118:29](#)エホバに感謝せよ。神は善い方。神の揺るぎない愛は永遠に続く）

4. エホバから愛されているという確信があるなら、どんな恐れを乗り越えることができますか。

4 私たちは、エホバから愛されていることを確信している必要があります。その確信があるなら、多くの人が感じる次のような恐れを乗り越えることができます。（1）家族を養えないのではないかという恐れ、（2）人への恐れ、（3）死に対する恐れです。この記事の1節に出てきた兄弟姉妹は、神の愛を確信していたので、こうした恐れを乗り越えることができました。

## 家族を養えないのではないかという恐れ



1人の兄弟が、家族を養うために漁をしている。そばには息子がいる。（5節を参照。）

### I. 愛は「家族を養えないのではないかという恐れ」を乗り越える上でどのように助けと？

5. 家族の頭はどんなことに大きな恐れを感じるかもしれませんか。（表紙の写真を参照。）

5 クリストンである家族の頭は、家族を養う責任を真剣に受け止めています。（[テモ一 5:8](#)）あなたが家族の頭であるなら、最近のパンデミックの間、仕事を失うのではないかという恐れを感じたかもしれません。「家族のために食べ物を買ったり、家賃や家のローンを払ったりできるだろうか。今の仕事を失ったら、次の仕事は見つかるだろうか」と心配になったかもしれません。また、先ほどのネストル兄弟やマリア姉妹のように、これまでのような生活ができなくなるのではないかと考えて、仕事を調整することをためらうかもしれません。サタンはこうした恐れに付け込んで、かなりの成功を収めました。

6. サタンは私たちにどんなことを信じ込ませようとしていますか。

6 サタンは私たちに、「エホバは私のことを気に掛けてはいない。家族を養うことについては、自分の力で何とかしなければいけない」と信じ込ませようとしています。それで私たちは、「聖書の教えを無視することになるとしても、今の仕事を続けるためにできることは何でもしなければいけない」と考えるかもしれません。

7. イエスはエホバについてどんなことを教えましたか。

7 イエスは、お父さんエホバのことを誰よりもよく知っています。それで、「天の父は、[私たち]が求める前から、必要とするものを知っている」と言いました。（マタ 6:8 異国の人々のようではありません。天の父は、あなたたちが求める前から、必要とするものを知っているのです）それだけでなく、エホバが必要な物を私たちに喜んで与えてくださる、ということも分かっていました。クリスチャンである私たちは神の家族の一員なので、エホバが家族の頭として、テモテ第一5章8節もある人が、自分の家族、特に一緒に住んでいる人たちに必要な物を与えないなら、クリスチャンの信条を否定していることになり、信仰のない人より悪いといえます）の教えの通りに行動してください、と確信することができます。



エホバは、私たちが必要な物を必ず得られるようにしてくださる。そのために仲間の兄弟姉妹を用いるかもしれない。

（8節を参照。）\*写真や挿絵：一生懸命働いている姉妹と家族の所へ、会衆の夫婦が食事を届けている。

8. （ア）家族を養えないのではないかという恐れを乗り越える上で、どんなことが助けになりますか。（マタイ 6:31-33）

（イ）姉妹に食事を届けている夫婦に、どのように倣うことができますか。（写真を参照。）

8 私たちは、自己や自分の家族がエホバから愛されているということを確信しているなら、必要な物は必ず得られると信じることができます。（マタイ 6:31-33）それで、心配して、『何を食べるのか』、『何を飲むのか』、『何を着るのか』などと言ってはなりません。32 これら全ては異国の人々が必死に求めていきます。天の父は、あなたたちがこうしたもの全てを必要としていることを知っています。33 ですから、王国と神から見て正しいことをいつも第一にしなさい。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます）を読む。）エホバは、私たちに必要な物を与えたいと願っているだけでなく、愛の気持ちから惜しみなく与えてくださる方です。エホバは地球を創造した時、私たちが何とか生きていける程度の物ではなく、はるかに多くの物を造って、私たちが生活を楽しめるようにしてくださいま

した。 (創 2:9 エホバ神は、食べられる実を付けるさまざまな美しい木が地面から生えるようにし、庭園の真ん中に命の木を生えさせた。また、善惡の知識の木を生えさせた) 時には、最低限の物しか手に入らないこともあるかもしれません、最低限のものがあるということに思いを向けるのは良いことです。エホバは、私たちに必要な物を必ず与えてくださいます。 (マタ 6:11 今日、この日のためのパンを私たちにお与えください) そして、私たちが今どんな物を犠牲にするとしても、エホバが今まで将来に与えてくださるものの方がはるかに多い、ということをぜひ覚えておきましょう。ネストル兄弟とマリア姉妹は、このことを実感しました。 (イザ 65:21, 22 人々は家を建てて住み、ブドウ園を造って実を食べる。22 建てた家に他人が住むことはなく、植えた物を他人が食べることもない。私の民の寿命は木の寿命のようになり、私が選んだ者たちは働く喜びを存分に味わう)

9. ネストル兄弟とマリア姉妹の例からどんなことを学べますか。

9 ネストル兄弟とマリア姉妹は、コロンビアで快適な生活を送っていました。2人はこう言います。「私たちは、生活をシンプルにして、宣教でもっと多くのことを行いたい」と思っていましたが、収入が少なくなつても幸せに暮らしていけるんだろうか、と不安を感じていました。こうした気持ちを乗り越える上で、どんなことが助けになったでしょうか。2人は、さまざまな機会にエホバからの愛を感じたことについて、じっくり考えました。そして、エホバが自分たちを絶対に世話してくださいとすることを確信した2人は、給料の良い仕事を辞め、家を売り、伝道者の必要な大きな地域に移動しました。2人は今どう感じているでしょうか。ネストル兄弟はこう言います。「まさに、マタイ 6章 33節 ですから、王国と神から見て正しいことをいつも第一にしなさい。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます」の言葉の通りになりました。必要な物がなかったことは一度もありません。前よりもずっと幸せです」。

## 人への恐れ

II. 愛は「人への恐れ」の恐れを乗り越える上でどのように助けとなりますか

10. 人への恐れを感じるのが無理もないことであるのはどうしてですか。

10 昔から、人は人に害を及ぼしてきました。 (伝 8:9 私はこの全てを見た。地上で行われた全てについて真剣に考えた。これまでずっと、人は人を支配し、人に害を及ぼして(\*人を傷つけて/人の損失となって)きた) 例えば、権力の乱用、暴力事件、学校でのいじめ、家庭内暴力などです。それで、人への恐れを感じるのは無理もないことです。では、サタンはこうした恐れをどのように利用しているでしょうか。

11-12. サタンは人への恐れにどのように付け込みますか。

11 サタンは、人への恐れを使って、妥協させたり伝道をやめさせたりしようとしています。例えば、サタンの影響を受けた政府が私たちを迫害したり、私たちの活動を禁じたりしてきました。 (ルカ 21:12 しかし、これら全てが起きる前に、人々はあなたたちを捕らえて迫害し、会堂や牢屋に引き渡し、あなたたちは私の名のために王や総督の前に連れていかれます。啓 2:10 受けようとしている苦しみを恐れてはなりません。悪魔は、あなたたちのうち幾人かを牢屋に投げ込んでいきます。そのようにして、あなたたちは十分に試され、10日の間苦難に遭います。たとえ死ぬことになつても、忠実であり続けなさい。そうすれば、あなたに命の冠を与

えます) また、サタンの世界では、人々がエホバの証人に対する間違った情報や悪意のあるうそを広めたりします。私たちは、こうしたうそを信じた人たちからあざけられるかもしれません。暴力を振るわれることさえあるかもしれません。(マタ 10:36 自分の家の人たちが敵になるのです) では、私たちはサタンからのこうした攻撃に驚くべきでしょうか。そのようなことはありません。サタンは1世紀にも同じ手を使っていました。(使徒 5:27, 28 こうして使徒たちは連れてこられ、サンヘドリンの前に立たされた。大祭司が質問して、28 言った。「もうあの名によって教えてはならないときっぱり命じたのに、あなたたちはエルサレム中で教えを広め、あの男が死んだ責任を私たちに負わせようとしている」、40 皆はガマリエルの意見を受け入れ、使徒たちを呼び出して打ちたたき、イエスの名によって語るのをやめるようにと命じてから去らせた)



家族から反対されるとても、エホバが愛してくださっていることを確信できる。(12-14節を参照。)\*

**写真や挿絵:** 1人の若い兄弟は、エホバに仕えることを親から反対されているが、エホバが支えてくださることを確信している。

12 サタンが使うのは、政府からの迫害に対する恐れだけではありません。兄弟姉妹の中には、暴力的な迫害よりも家族が真理に対してどんな反応をするかを恐れる人もいます。こうした兄弟姉妹は、親族を深く愛しているので、エホバのことを知って愛するようになってほしいと願っています。それで、親族がエホバやエホバに仕える人たちのことを悪く言うのを聞くと、つらく感じます。もちろん、初めは反対していた親族が後にエホバに仕えるようになります。では、真理ゆえに家族から縁を切られるとしたら、私たちはどう感じるでしょうか。

13. 家族から縁を切られた場合、エホバの愛を確信していることはどのように助けとなりますか。(詩編 27:10)

13 詩編 27 編 10 節 たとえ父と母に捨てられても、エホバが迎えてくださるには、慰めとなる本当に素晴らしい言葉が収められています。(読む。) エホバが私たちをどれほど愛してくださっているかを忘れないなら、家族から反対されるとても安心感を抱くことができます。エホバは私たちの忍耐に必ず報いを与えてくださいます。そして、私たちが生きていくのに必要な物を与え、穏やかで幸福な生活ができるようにし、ご自分との絆を保てるよう助けてくださいます。エホバのように助けてくれる人はいません。ビニアム兄弟は、まさにこのことを経験しました。

14. ビニアム兄弟の例からどんなことを学べますか。

14 ビニアム兄弟は、ひどい迫害を受けることになると分かっていましたが、エホバの証人になりました。兄弟が人への恐れを乗り越える上で、エホバから愛されているという自覚はどのように助けとなつたでしょうか。兄弟はこう言います。「迫害は、想像していたよりも厳しいものでした。でも、私が政府からの迫害以上に恐れたのは、家族からの反対でした。エホバの証人になつたら、エホバの証人ではない父親をがっかりさせるのではないか、家族からだめな人間と思われるのではないか、と思いました」。でも兄弟は、エホバが愛する者を必ず世話するということを確信していました。さらにこう言います。「経済的に苦しい状況にあつたり、偏見の目で見られたり、暴徒に襲われたりした人たちをエホバがどのように助けてきたかをじっくり考えました。エホバにしっかりと付くなら、祝福していただけます。私は何度も逮捕され、ひどい暴行を受けたこともありましたが、エホバが忠実を保つ人たちを必ず助けるということを、身をもって経験しました」。ビニアム兄弟にとって、エホバがお父さんとなり、エホバに仕える人たちが家族となつたのです。

## 死に対する恐れ

III. 愛は「死に対する恐れ」の恐れを乗り越える上でどのように助けとなりますか

15. 死に対する恐れを感じても不思議でないのはなぜですか。

15 聖書は死を敵と呼んでいます。（コリー 15:25, 26 神がキリストに全ての敵を踏みつけさせるまで、キリストは王として治めるのです。26 そして最後の敵である死が除き去られます）私たちは死について考える恐怖の気持ちになります。自分や愛する人が重い病気になった時には、特にそうです。私たちが死を恐れるのはどうしてでしょうか。それは、エホバが人間を、永遠に生きたいという願いを持つものとして創造したからです。（伝 3:11 神は全てを適切な時に美しくした（\*に組織した/に整えた/に配置した）。神は人に、永遠を思う心さえ与えた。それでも人は、真の神の行いを決して知り尽くす（\*を始まりから終わりまで決して知ることがない）とはいえ、死に対する恐れは身の守りともなります。そうした恐れがあるなら、食生活や運動に気を配り、必要な時には病院に行ったり薬を飲んだりし、命を危険にさらすようなことを避けるからです。

16. サタンは死に対する恐れを使ってどんなことをしますか。

16 サタンは、私たちが命を大切にしていることを知っています。それで、私たちについて、命を守るためならエホバとの縛さえ犠牲にする、と主張しています。（ヨブ 2:4, 5 サタンはエホバに答えた。「誰でも自分の身が一番（d\*皮膚のためには皮膚）です。人は自分の命を守るために、自分が持つもの全てを差し出します。5 試しに、あなたの手を出して、彼の体に傷を負わせて（d\*骨と肉にまで触れて）ください。彼はきっと面と向かってあなたを侮辱します」）しかし、それは間違っています。それでも、「死をもたらす者」であるサタンは、死に対する恐れを使って、私たちにエホバを捨てさせようとします。（ヘブ 2:14, 15 それで、「子供たち」が人間（\*肉体を持つ者）なので、イエスも人間（\*肉体を持つ者）になりました。それは、自分の死により、死をもたらす者である悪魔を除き去るため、15 また、死への恐れゆえに生涯ずっと奴隸の状態だった人全てを自由にするためでした）ある場合には、サタンの影響を受けた人たちが、エホバへの信仰を

捨てないなら殺す、と脅してくるかもしれません。また、サタンが医療上の緊急事態に付け込んで、私たちを妥協させようとすることもあります。医師やエホバの証人ではない家族が、輸血を受け入れるよう圧力をかけてくるかもしれません。でも、輸血をするなら、神のおきてを破ることになってしまいます。あるいは、聖書の教えに反するような治療法を受け入れるよう勧められる場合もあるでしょう。

17. ローマ 8章 37-39節によると、死を恐れる必要がないのはなぜですか。

17 もちろん、私たちは死にたいと思っているわけではありませんが、仮に死ぬとしても、それでエホバからの愛が終わってしまうわけではない、ということを理解しています。（ローマ 8:37-39しかし、私たちは、愛してくださった方により、これらのことがある中で完全な勝利を収めています。38 私は確信しています。死も、生も、天使も、政府も、今あるものも、これから来るものも、力も、39 高さも、深さも、ほかのどんな創造物も、主であるキリスト・イエスを通して示される神の愛から私たちを引き離すことはできませんを読む。）エホバは、ご自分の友が死ぬとしても、その人たちを生きているかのように記憶にとどめています。（ルカ 20:37, 38死者が生き返ることに関しては、モーセも、いばらの木に関する記述の中で明らかにしました。その際エホバを『アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神』と呼んでいます。38 この方は死んだ人の神ではなく、生きている人の神です。彼らは皆、神にとって生きているのです）そして、彼らを生き返らせたいと心から願っています。（ヨブ 14:15あなたは呼んでください、私はあなたに答えます。あなたはご自分の手で造った人に再び会いたいと願い(\*人のことを慕います) エホバは大きな犠牲を払って、私たちが「永遠の命を受けられるようにしました」。（ヨハ 3:16神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました）私たちは、エホバが深く愛し、気遣ってくれている、ということをよく知っています。それで、病気になったり死ぬ恐れがあったりする時にも、エホバを捨てるのではなく、慰めや知恵や力を求めてエホバに頼ります。バレリー姉妹と夫は、まさにその通りにしました。（詩 41:3エホバは病に伏せる彼を支える。病気の間、あなたは彼の世話をする(d\*彼の寝床を替える)）

18. バレリー姉妹の例からどんなことを学べますか。

18 バレリー姉妹は35歳の時に、珍しい進行性のがんであると診断されました。姉妹が死に対する恐れを乗り越える上で、愛はどのように助けとなつたでしょうか。姉妹はこう言います。「がんと診断されて、私たち夫婦の生活は一変しました。生きるために、大きな手術を受ける必要がありました。何人の外科医に相談しましたが、輸血なしで手術を行ってくれる先生はいませんでした。私は恐れを感じました。でも、エホバからの命令なので、輸血を受け入れるわけにはいきません。エホバは、これまでずっと私にたくさんの愛を示してくれました。ですから、今度は私がエホバに愛を示す番です。先生から良くない返事があるたびに、『エホバに喜んでいただきた。サタンには負けたくない』という気持ちが強くなりました。やがて、無輸血での手術を受けることができました。問題がなくなったわけではありませんが、エホバは私たちに必要なものをいつも与えてくださっています。例えば、がんと診断される前の週末の集会で、『今日、勇気をもって逆境に立ち向かう』という記事を学びました。\*「ものの塔」2012年10月15日号7-11ページを参照 私たちにとって本当に助けになりました。この記事を何度も何度も読みました。こう

した記事を学ぶことや、エホバとの絆を保つためのさまざまな活動をいつも行なうことが助けになりました。そのおかげで、主人も私も穏やかな心やバランスの取れた見方を保ち、良い決定をすることができています」。

## 恐れを乗り越える

19. 間もなくどんなことが起きますか。

19 世界中のクリスチヤンが、エホバからの助けを得て、さまざまな難しい問題を乗り越え、悪魔に立ち向かってきました。 (ペテー 5:8, 9 頭がさえた状態(\*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち、油断なく見張ってください。敵である悪魔が、ほえるライオンのように歩き回って、誰かをむさぼり食おうとして(\*むさぼり食おうと探して)います。 9 摺るぎない信仰を持ち、悪魔に立ち向かってください。ご存じの通り、世界中にいる、信仰で結ばれた兄弟たちが、同じような苦しみを経験しています) あなたも同じようにすることができます。間もなくイエスと共同統治者たちは、エホバからの指示を受けて「悪魔の行いを終わらせ」ます。 (ヨハ一 3:8 罪を犯し続ける人は悪魔から出ています。悪魔は初めから罪を犯してきたからです。神の子が現れたのは、悪魔の行いを終わらせる(\*滅ぼす)ためです) その結果、地上に住むエホバに仕える人たちは、「何も恐れず、おびえることもな」くなります。 (イザ 54:14 あなたは正しさによってしっかりと据えられる。圧迫から遠く離れ、何も恐れず、おびえることもない。恐怖を抱かせるものがあなたに近づくことはない。ミカ 4:4 彼らはそれぞれ自分のブドウの木やイチジクの木の下に座り(\*住み)、誰にも脅かされない。大軍を率いるエホバの口が語ったのである) とはいえ、その時まで、私たちは恐れを乗り越えるために努力する必要があります。

20. 恐れを乗り越える上で、どんなことが助けとなりますか。

20 私たちは、エホバがご自分に仕える人たちを愛し、守ってくださる、という確信を強めていく必要があります。そうする上で、どんなことが助けになるでしょうか。エホバがご自分に仕える人たちを守った過去の例について、じっくり考えたり話題にしたりすることができます。そして、エホバが難しい状況を乗り越えられるよう自分をどのように助けてくださったかを忘れないようにしましょう。エホバからの助けがあるなら、私たちは恐れを乗り越えることができるのです。 (詩 34:4 私が尋ねると、エホバは答えてくださった。全ての恐れから助け出してくださった)

愛は、以下の恐れを乗り越える上でどのように助けとなりますか

- I. 愛は「家族を養えないのではないかという恐れ」を乗り越える上でどのように助けと?
- II. 愛は「人への恐れ」の恐れを乗り越える上でどのように助けとなりますか
- III. 愛は「死に対する恐れ」の恐れを乗り越える上でどのように助けとなりますか

129 番の歌 決して負けない 最後まで